

解散致しましたが、収支計算の結果17万円強の剰余金が算出されました。

つきましては役員協議の上左記の通り処理することに致しました。

記

偕行社宛寄付 12万円  
特攻隊戦没者慰霊顕彰会宛寄付 5万6千円

(特攻顕彰会は、毎年秋分の日、地元世田谷山観音寺にて特攻平和観音年次法要を奉納されています)

### 熊幼会通信(北熊館見学会の案内)

熊幼会会長 45期 美作 博

去る4月3日、第8師団の運動場で観桜会が開催された。招待客2百人と全隊員出席、あの頃植えた桜が、雄健神社周辺、運動場西側とも満開、絶好の花見日和だった。熊幼出身者は小生一人、寂しくなった。

地震被害について監物台記念碑倒壊は再建完了、雄健神社の石垣破損は自衛隊で修理完了。社殿は無事。鳥居は一部補強、防衛館、大講堂共に修理不能、神社の北東部に1614㎡、6.7億円で竣工した。(防衛館は北熊館に名称変更)北熊館内の熊幼記念館は長年の努力で内容が整備されている。

ついでには左記の通り見学会を開催します。別途案内を送ります。多数の参加を

期待します。

記

日時 令和元年10月3日(木)

午後1時

場所 北熊本駐屯地 雄健神社

1 神社参拜

2 北熊館見学

3 大講堂、師団長に挨拶予定

懇親会 メルバルク(市内水道町)

宿泊 メルバルク(同右)

ネストホテル(辛島町)

各期担当者

45期 甲斐、美作 46期 大中

47期 藤木、山口 48期 三島、真方

49期 大藪、岡屋、阿部

### 岩手偕行会総会等の開催

岩手偕行会は平成最後の月となる4月21日(日)15時から20時の間盛岡市内のホテルを会場に総会・講演会・懇親会を行いました。その概要をお伝えいたします。

1 総会

定例の事業・決算報告、新年度事業計画・予算案、役員継続承認の議案は滞りなく決議され、引き続き会員の遠藤秀鬼理事に対する功績表彰を行いました。

2 講演 講師 偕行社理事火箱芳文

(元陸幕長) 演題「激動の国際情勢と我が国の安全保障」

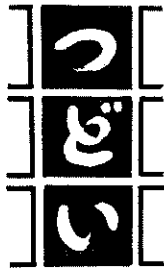
本社からお越しいただいた元陸幕長火箱芳文理事の1時間55分講話と引き続き本社監事杉澤敬子理事の20分の本社現況説明をいただきました。聴講者は会員24名の他、野口紀幸岩手駐屯地司令・西本浩史岩手地方協力本部長をはじめ岩手駐屯地の各部隊長を含む現職幹部自衛官65名、部外から岩手護国神社権禰宜伊藤止良様、岩手県郷友会会長内藤隆様の参加をいただきました。

火箱様の陸幕長勤務時期をふくめて平素お考えの日本が抱える国防上の大きな問題点と将来への改善展望などのお話をいただきました。現職の方々の任務遂行時等に何かしらの良い影響があるうかと感じました。講演に引き続き本社監事杉澤敬子理事から本社の現状と会への要望事項の説明がありました。特に会員の確保と運営経費は現下の切実な問題です。

3 懇親会

歳祝い者4名への記念品贈呈に合わせ秋山顧問の朱墨で「寿」揮毫の色紙がプレゼントされた後、火箱様・杉澤様を囲み、会員と駐屯地司令・地本部長など現職幹部自衛官との相互交流に話が弾み、予定2時間をオーバーして盛況に終わりました。今後私どもの会と岩手駐屯地修親会との親睦・交流がますます活発となりますよう期待されます。

今回、参加者数は、総会21名、講演会94名、懇親会47名でした。今回は初めて

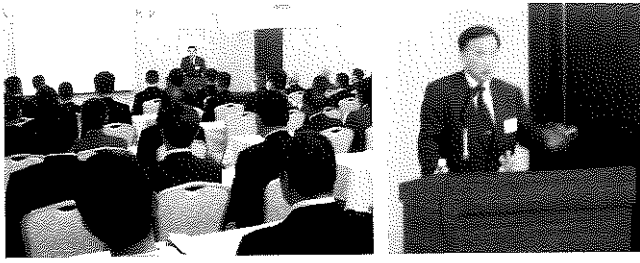


### 世田谷偕行会剰余金について

前世田谷偕行会長 矢可部一敏

世田谷偕行会は平成31年3月末を以て

旧軍出身会員の参加がなく、元会員の  
みとなりました。会員の増減については、  
この1年新入会員3名の一方、旧軍の会  
員5名、元会員5名の逝去があり会  
員総数は117名となりました。



写真は好評だった講演風景

## 青森県偕行会平成最後の花見

青森県偕行会は、護國神社第71回例大  
祭に合わせて4月29日、弘前市にある青  
森護國神社内苑において、例大祭参列  
後に花見を行った。青森市から参列され

た伊藤会長を中心に、制服で参列された  
第39普通科連隊長兼ねて弘前駐屯地司令  
の木原邦洋1佐を迎えて、会員19名が参  
加した。

例大祭は三村青森県知事を始め、櫻田  
弘前市長など来賓約50名、1000名  
を超えるご遺族などが出席し午前10時半  
に齋行された。同神社は明治維新以後の  
数々の戦争で亡くなられた御英霊2万9  
182柱（昨年より1柱増）を祀って  
いる。同神社は明治2年6月2日に建立  
された「招魂堂」がはじまりとされてい  
る。最初の招魂祭は、奥羽戦争で津軽藩  
応援のため、熊本細川家から派遣され、  
千葉房州沖の鬼ヶ崎で難破し溺死した  
熊本藩士280余名の忠臣たちをも慰  
霊するものであった。津軽藩主承昭（つ  
ぐあきら）公は、細川家から津軽家に養  
子に入った藩主であった。

同神社は弘前公園の丸に鎮座し、20  
日からは全国一といわれる「弘前さくら  
まつり」が開催され、連日20万人を超え  
る花見客で賑わっている中での神事で、  
多くの花見客が同神社を取り巻いた。

例大祭当日は、早朝に神門に「英霊に  
敬意を」の垂れ幕と、偕行社の幟旗を掲  
げ来詣者に慶ばれた。

花見は、例大祭終了後の午後零時に伊  
藤哲也会長仙幼49期の挨拶で始まった。

今年は大湊水行会副会長及び旧弘前偕  
行社建設棟梁堀江佐吉の子孫で現在も改

築請負会社である堀江組社長も顔を出さ  
れた。

特に、木原連隊長との懇談を望む者が  
多く、半年ぶりの交流の輪を広げた。

偕行会の花見は、8年前の平成23年に  
伊藤会長以下5名で始まり、本年は21名  
と毎年増え続けた。

中締めの前に、集合写真撮影の提案が  
あり、令和の新时代を奉祝すべく、国旗  
の丸を手に、にこやかに撮影された。

3時間に及んだ花見は、6月6日の「  
創建百五十年式年大祭」及び秋の総会で  
の再会を期して護國神社・弘前公園を後  
にした。

事務局長 稲村孝司陸自75期記



## 愛知偕行会

### 令和01年度定期総会

令和01年度定期総会は、5月12日、例  
年通りホテル・ルブラ王山二階金鯱の間  
にて、昨年度より4名多い総勢47名の参  
加を得て開催された。これを従来会員の  
参加について見ると、昨年の会員14名同  
伴1名に対し、今回は会員11名同伴1名  
と3名の減となった。

陸自62期白山繁副会長の司会で、国歌  
斉唱、戦没者・殉職自衛官及び当会物故  
者に対する黙祷に始まり、陸自57期水野  
雅章会長の挨拶の後、陸自62期沖見光洋  
副会長の議長で、第1号議案「平成30年  
度事業報告」同会計報告、会計監査報  
告、第2号議案「令和01年度事業計画」、  
第3号議案「役員選任」の3議案につき  
陸自69期水谷登副会長、陸自71期木村鐘  
治事務局長、空自81期守屋久悟監事によ  
りそれぞれ報告され、これらを満場一致  
で承認した。締めくくりとして、(公財)  
偕行社からご来臨を賜った深山明敏副理  
事長の挨拶をいただいた後、偕行社理  
事長等からの祝電が披露されて総会を整  
斉と終了した。

次に、水野雅章当会会長による「日本  
の誇り」と題する講演があり、ここでは  
大東亜戦争以降今に至るまで、我が国民  
の多くが持ちあぐねている「日本の誇り」  
に関して、戦争相手国アメリカ合衆国の

第32代ルーズベルト大統領に焦点を当て、当該戦争の真の原因及び戦後処理の狙いとその影響について紹介された。

講演では、2011年、合衆国フーバ（第31代合衆国大統領）研究所が20年間及び研究成果として発表した『裏切られた自由』と題する書籍を特典として幾つかの具体例が紹介された。

公演の全体を通じ、コミンテルンの策謀に全世界の相当部分が侵されていることに、今、世界がその真相を知りつつある中であって、我が国・国民がその害毒に侵され続けている現状に警鐘を鳴らすものであった。ただし、コミンテルン（今ペキンテルン）に侵された一つにマスメディアがあるが、これはトランプ大統領のツイッターに見られるように、ネット



「偕行百年」の合唱風景

社会の発達で国民が直接情報に接する機会が増え、コミンテルンに侵された多数のメディアによる加工された情報の力が減じていく方向にあることが指摘された。

なお、大戦直後の合衆国はじめ連合国やコミンテルンの願望とは裏腹に、大東亜戦での日本の誇るべき戦果として、大戦後、①世界が人種差別をなくする方向へ動き続けていること、②植民地主義が淘汰されてきていることがあるとし、大戦後独立を果たした関係諸国から感謝され続けているという「東京裁判」の判決に照らし正反対の現状が紹介された。

続くイベントは、当会新入会員で前の守山駐屯地業務隊長であった陸自84期山下和敏氏による「手品披露」があった。軽快なリズムに乗って数種類のネタが披露され大喝采を受けた。

本会のメインイベント、懇親会は、陸自71期松本康人副会長の司会のもと水野会長の挨拶、来賓紹介、鈴木直栄陸上自衛隊第10師団長、船倉慶太航空自衛隊小牧基地司令はじめ来賓代表者によるご挨拶をいただいた後、高羽伸浩愛知県護国神社宮司の音頭による乾杯で開始された。宴は、参加者相互に健康を喜びつつ情報・意見交換、記念撮影等で親交を深めつつ、恒例の軍歌演習、校歌合唱で盛り上がり、塚本時義愛知県郷友会長の発声による「万歳三唱」で閉会した。

（副会長 水谷 登 陸自69）

## 近畿偕行会

加賀本 昭雄

近畿偕行会事務局便り79号（偶数月発行）を発刊しました。

新元号が「令和」に決まりました。出典は初めて日本の古典『万葉集』からとか。

日本もやっと中国離れが出来たようです。今後は中国に対し毅然と立ち向かって欲しいものです。

会長就任後1年が経ちました。その間の会員皆様のご協力を感謝申し上げます。

お陰様で会の運営も支障なく出来たのではないかと思っております。



懇親会の一景